



母親

俺の

My mother would sting and sting.
Remaining scent.
The reason I'm hung up on her,
mamamoni,
A bouquet of flowers to woman.
Makayoshi Club.



成年
コミック

Presented by
TAKASUGI KOU

タカスギコウ

MY MOTHER PRESENTED BY KOH
俺の母親
TAKASUGI





目次

どうしようもない母の唄(前編)	5
どうしようもない母の唄(後編)	31
残り香	59
僕が彼女に夢中な訳	95
ママモミ!	121
鋼の女に花束を	147
なかよし倶楽部	175
あとがき	203

母の唄

どうしようもない



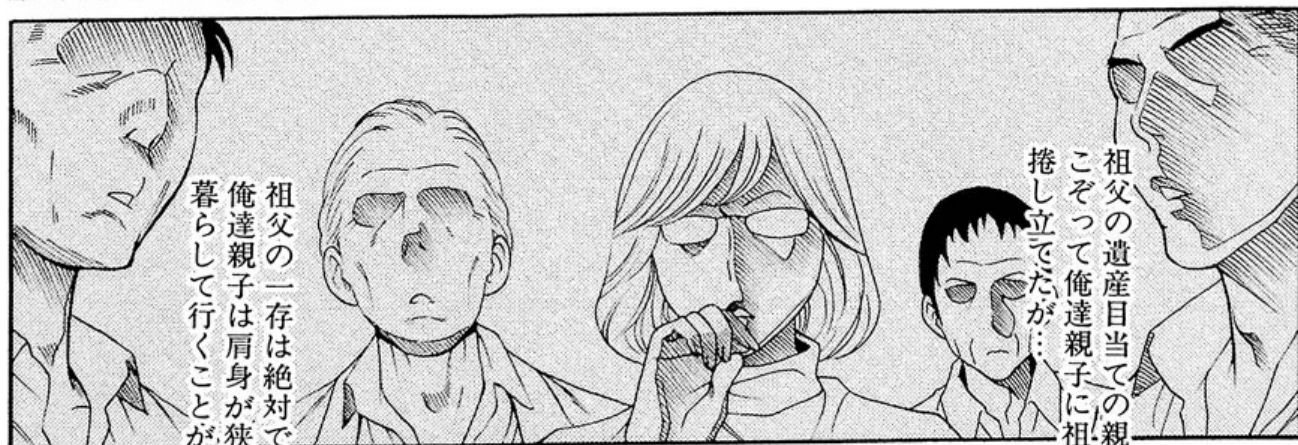


父親が亡くなってからも
資産家の祖父の元に身を寄せていた

父方の祖父と同居していた
俺達親子は

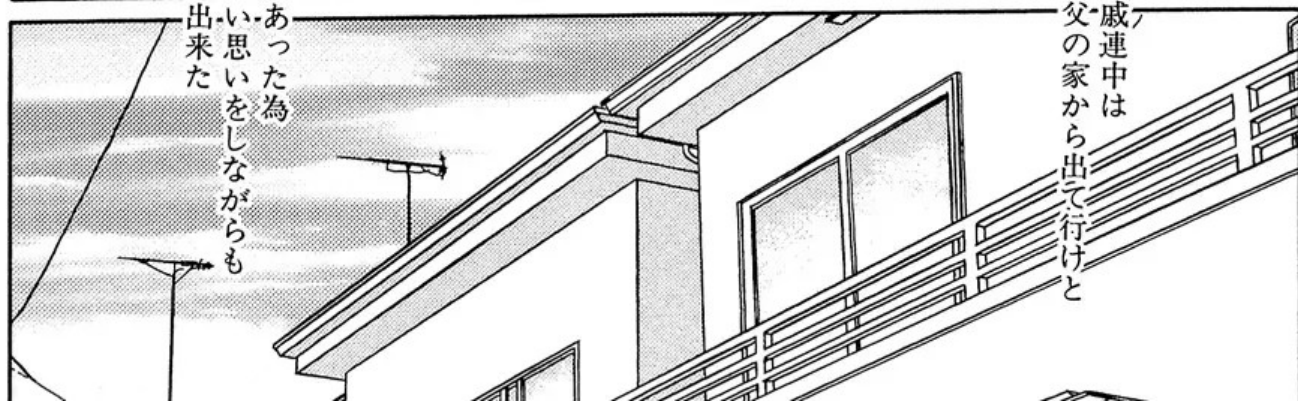


俺がまだ小さかった頃に
父親は死んだ...



祖父の遺産目当ての親戚連中は
こぞって俺達親子に祖父の家から出て行けと
捲し立てたが...

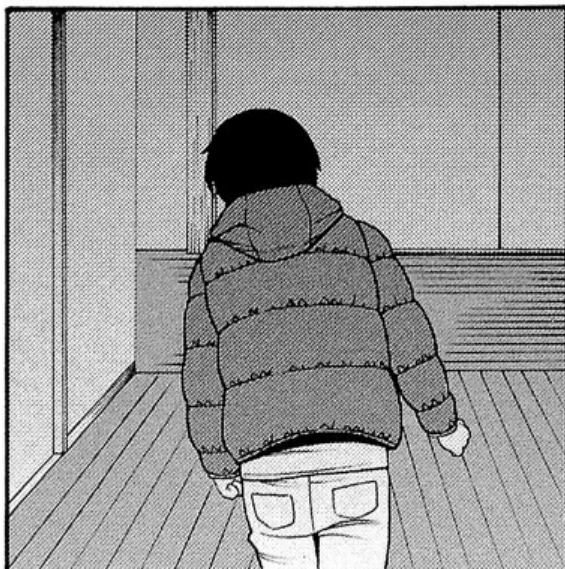
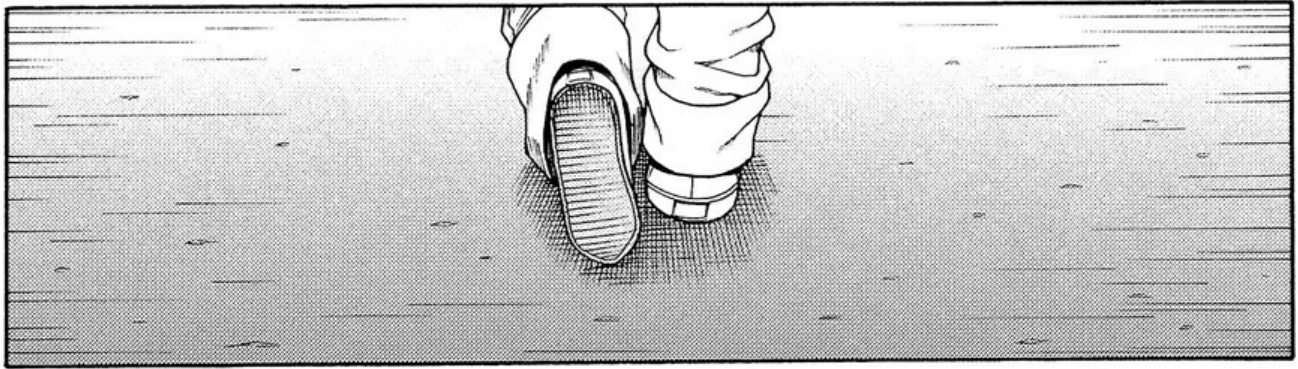
祖父の一存は絶対であった為
俺達親子は肩身が狭い思いをしながらも
暮らして行くことが出来た

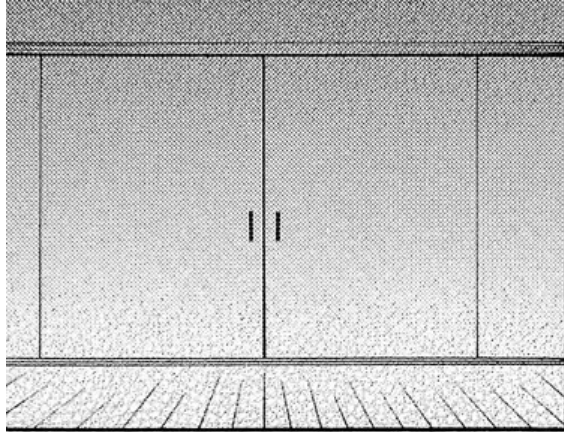




いってらっしゃい
龍太









お義父さまの…

お…おチ○ポ…

お義父さまの
おチ○ポっ…

美知子の
オマ○コにつ

ん~~~~?
なんじゃあ?

年寄りにはもつと
大きな声で言つて
くれんと聞こえんぞ

なま?

挿し込んで
下さあいつ!

なんてスケベな
嫁じゃあ…

にばあ

義父にチ○ポを
ねだりよる…

ううう…

あぐっ…

よしよし…
可愛い嫁の頼みじや

くれてやるぞ…
グフフフ…





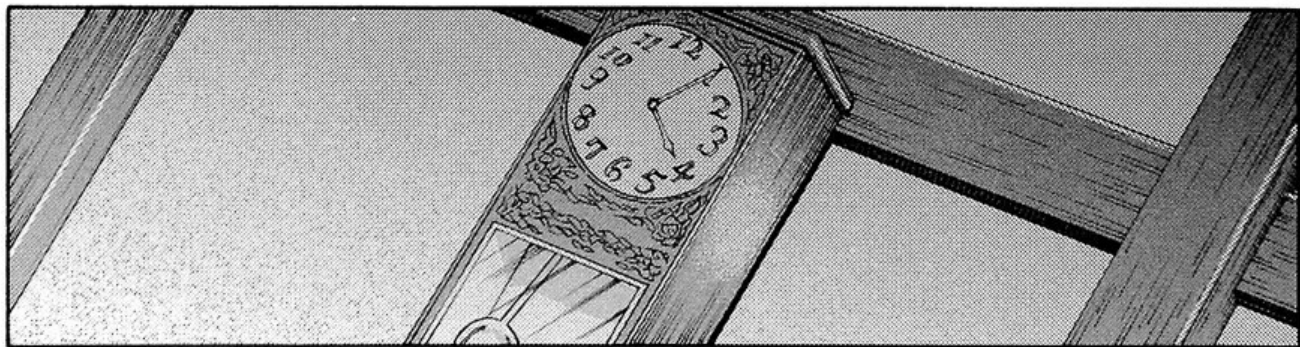


母は俺達親子の
生活の保障を得る為に

自らの体を異常な性癖を持つ
祖父に差し出していた...

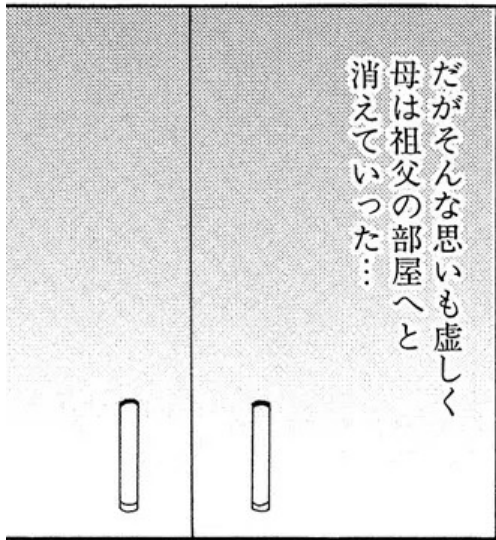
優しく綺麗な大好きな母親

下品で淫らな俺の知らない母親









だがそんな思いも虚しく
母は祖父の部屋へと
消えていった…



幼いなりに母親を祖父から
守りたかった…



ママっ…



お義父
さまっ…

やつ…

ワシの仕込みも
まだまだ捨てたもんじゃ
ないじやろう

ああっ…

あ？もう湿っておるじゃないか
さてはワシに呼ばれた時から
濡らしておったなあ？

ぬ
ちゅ

んはっ…

堪忍して下さいっ…



うへへへ…
美知子…

お義父さま
いけませんわ…

龍太がまだ家に…

なあに声を上げなければ
気付きやせんて

何が堪忍じゃ
豚嫁の分際でよくもそんな
台詞抜かせるのうっ！

ほれっ

しっかり
啜えるんじや！

ンオッ

ぬふふ：挿し込んだ
途端に鳴きよって

ああ

お前の様な牝豚に
声を出すなと言う方が
無理じゃったのう

オオッ

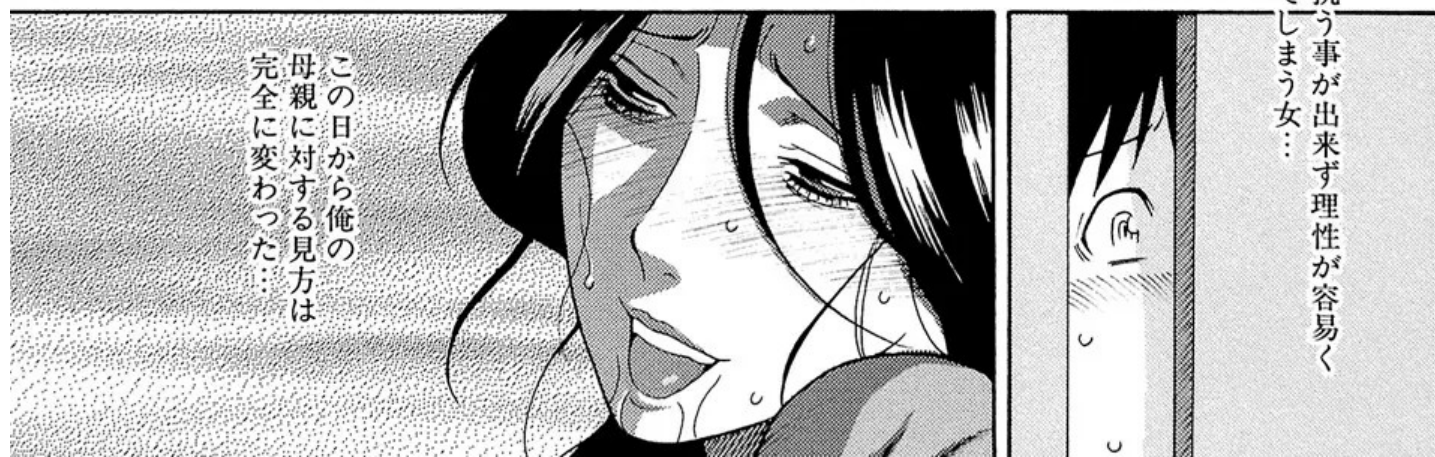
はあ

はッ♡

ドン

モニョ

ズ



あれから何年か経ち

俺は思春期を迎えた

龍太は今夜
留守にしておるのか？

はい…
友達の家に泊まりに
行くと…

母親と祖父の関係は
相変わらず続いており…

俺も二人の営みを覗き続けた

うへへへへ
そうか…

では今夜はたっぷり
可愛がってやるぞ

祖父に対しては幼い頃から
恨みにも似た感情を抱いていたが

母親に対しては
完全に性的対象となっていた

あっ…

あひっ！





やああ

ヒッ

ああああ

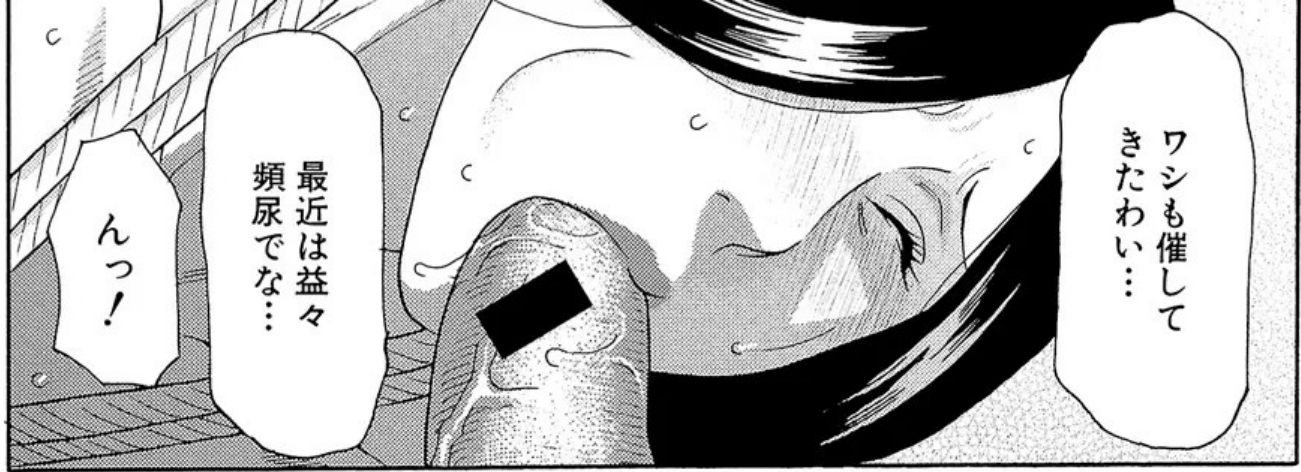
カッ
バッ

カッ
バッ
カッ
バッ

カッ

.....

ひっ...





よいぞっ!
存分に使ってやるわい

あはあっ

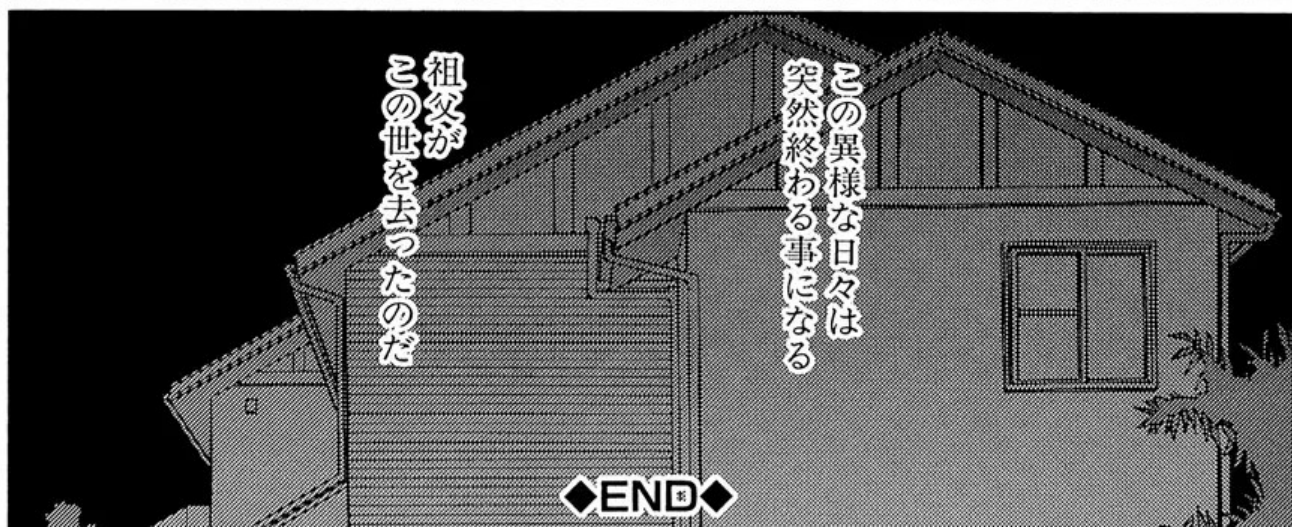
有難うございますっ

ンあああっ
ザーメンッ

ンがっ…
はあああっ!

お義父さまの
ザーメン下さいっ!

美知子の便器マ○コに
ザーメン流し込んで
下さあああいつ!





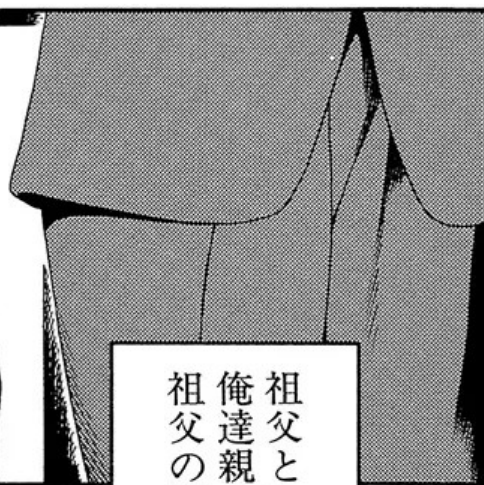
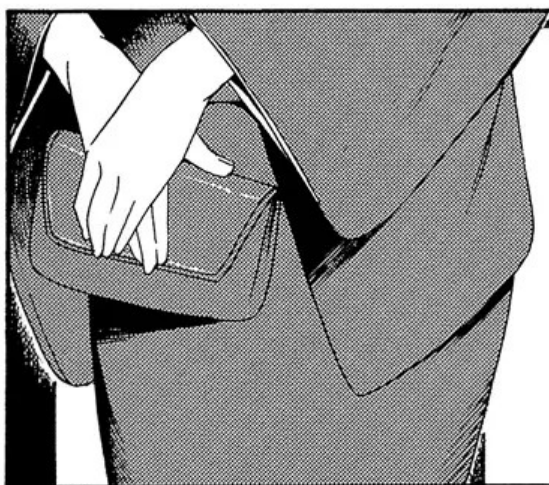
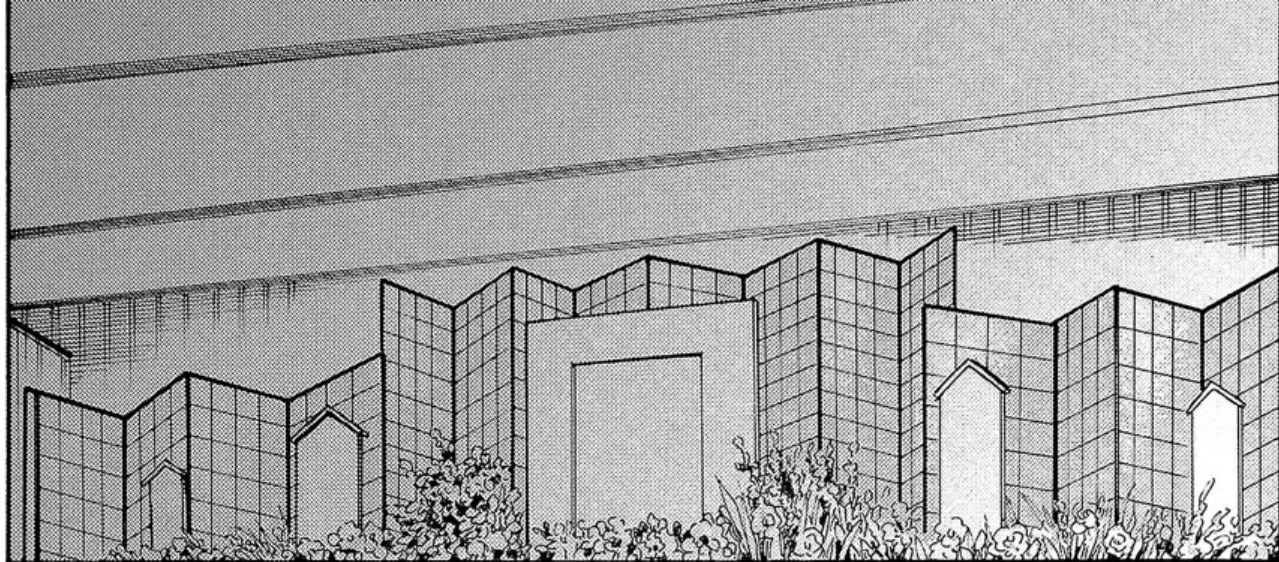
父親が死んだ後
俺達親子は祖父の下で暮らしていた
生活と引き換えに祖父は母に体を要求していた

母を奴隷のように食い物にしていた
祖父が突然この世を去った…

母の唄

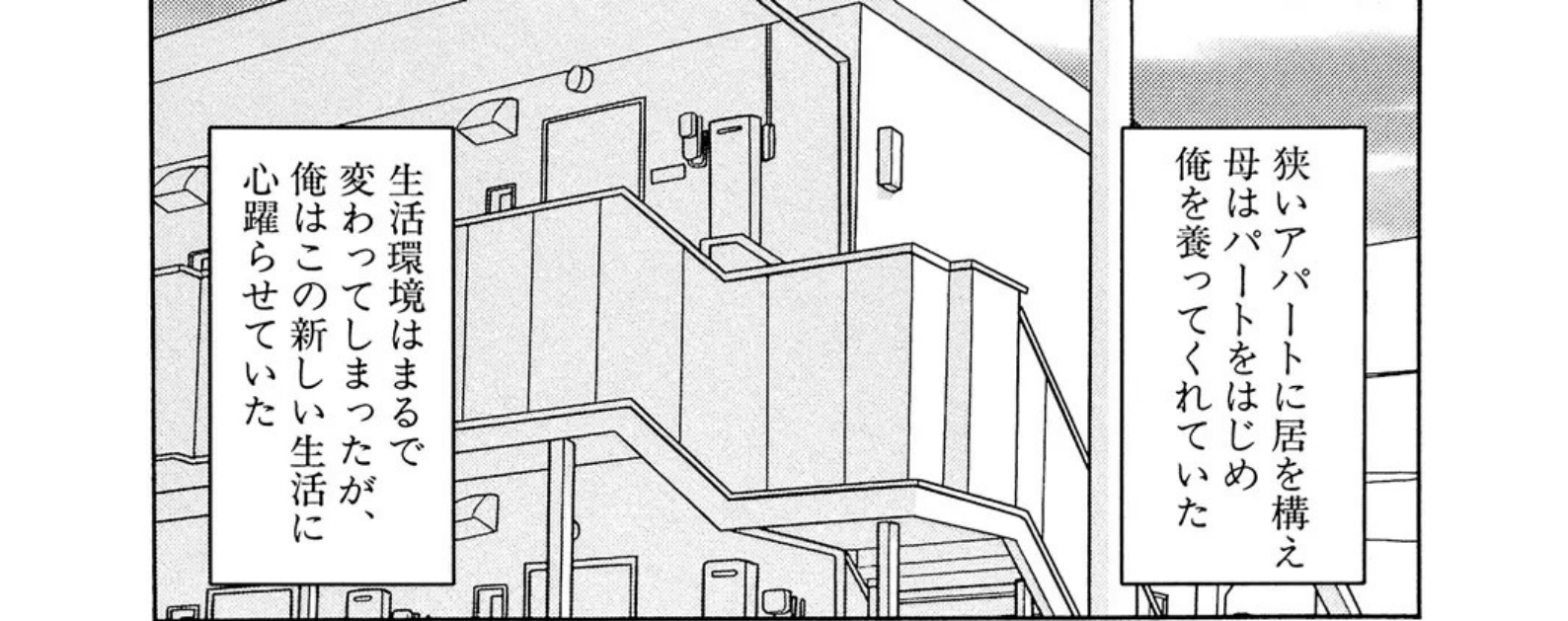
どうしようもない

後編



祖父という後ろ盾を失った
俺達親子は親戚連中によって
祖父の家から追い出された





狭いアパートに居を構え
母はパートをはじめ
俺を養ってくれていた

生活環境はまるで
変わってしまったが、
俺はこの新しい生活に
心躍らせていた



やっと大好きな母親と
二人つきりになれたの
だから…



ただいまー







その後
母とは一切口を利かず
夜になった…



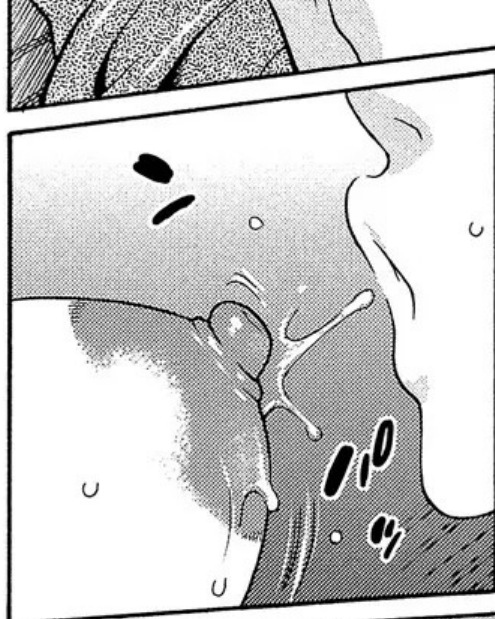
結局母は男なしでは
生きていけない女なのだ

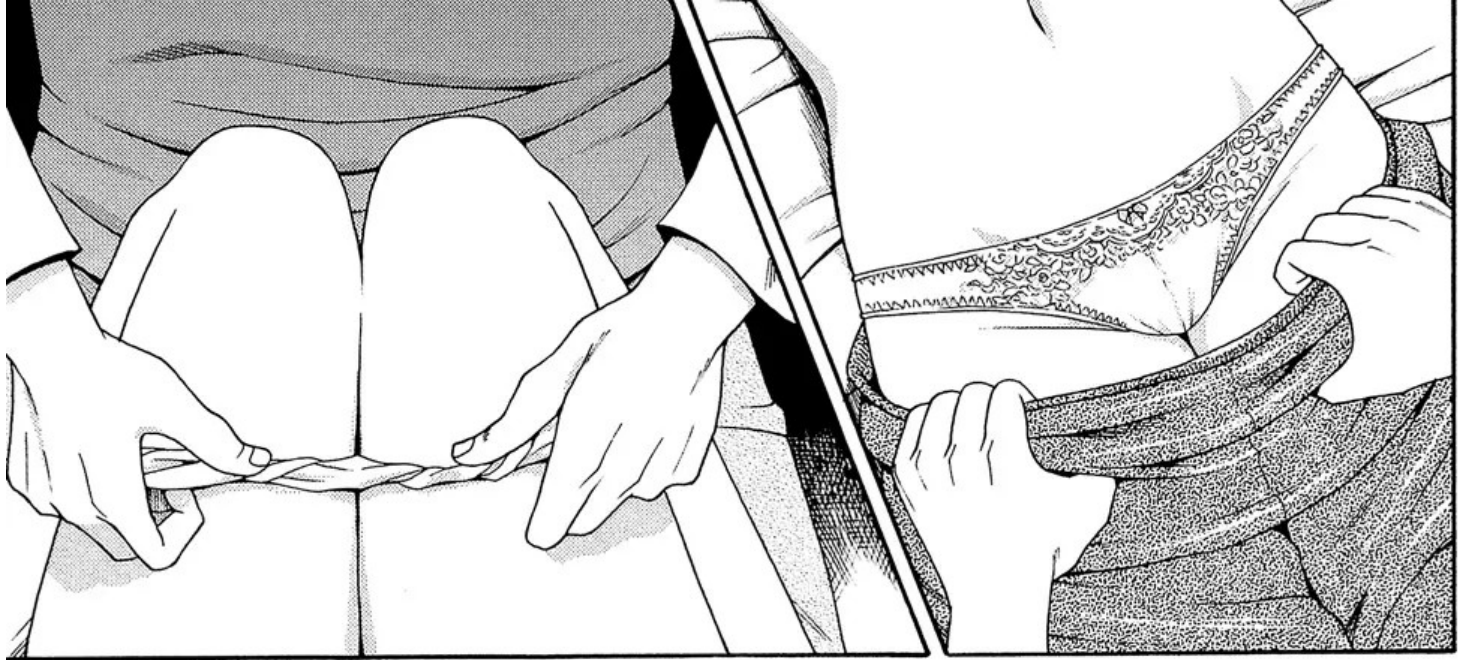
俺の理想だった親子水入らずの
生活は早くも崩れなくなった













なっ…
なにやってるのっ!

龍太っ?

なっ!



龍太っ!

母さんは
男が欲しくて
堪んないんだろっ?

やっ!

だったら俺が
相手してやるよっ!

やめてっ!



俺母さんがじいちゃんに
やられてるの
ずっと見てたんだよっ

いやっ…

あっ



えっ！

俺だけの母さんに
なって欲しいん
だよっ！

ああっ…

あああっ…

俺もう母さんが
誰かにやられてるの
見たくないんだよっ！

ガッ



ああっ…
龍太…

お願い
やめてっ！

だからって
こんな事…

あなたっ…くっ…
どうしちゃったのっ？



俺母さん
見ながら…

ずっと一人で
してたんだよ

おかしいだろ？

自分の母親で
興奮するなんてさ

ジジイ相手に悶える
母さんは異常だと思った
でもっ…

ひっ！

ンぐっ！

そんな母さんを見て
興奮してた俺も
異常なんだよ！

はあんっ！

あの日から全てが
狂っちゃったんだよ！

あああっ…







呆気ないほど容易に息子を
受け容れた事に驚いたが…

母のこのだらしなく呆ける
顔を見て確信した…

ああっ…

あっ…

はあああ…

あは

はあ

はあ





牝豚…

!



あんたは
息子のチ○ポでも
悶え狂う牝豚かよっ!

んひっ!

ひいっ!

気付けば
恨み忌み嫌っていた祖父が
吐く様な言葉を浴びせていた

だったら好きなだけ 食わせてやるよっ!

誰のチ○ポでもいいんだろっ!

ひびく...ふんふん...

いつちやういふ...

びび

びび

びび

びび

だったら好きなだけ 食わせてやるよっ!

誰のチ○ポでもいいんだろっ!

ひびく...ふんふん...

いつちやういっ!

ひびく

ふんふん

だったら好きなだけ 食わせてやるよっ!

誰のチ○ポでもいいんだろっ!

ひびく...ふんふん...

いつちやういふ...

びびり

ぐわ

だったら好きなだけ 食わせてやるよっ!

誰のチ○ポでもいいんだろっ!

ひびく...ふんふん...

いつちやういっ!

びびり

ぐわ

だったら好きなだけ 食わせてやるよっ!

誰のチ○ポでもいいんだろっ!

ひびく...ふんふん...

いつちやういっ!

びびり

ぐわ

イクのかよ？
息子のチ○ポで
イクのかよっ！

ブルンッ

あああっ！

ンああっ！

あんたマジで
どうしようもない
女だなっ！

ブルンッ
ポッ
ポッ
ポッ
ポッ

ンおっ！

おおおっ…

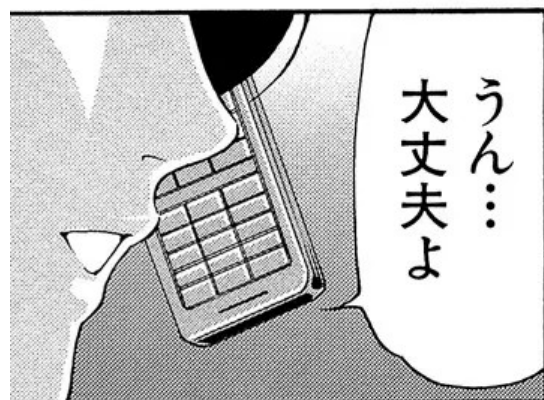


ひっ!

ホラッ!
息子にイキ顔
見せてみなっ!

人々





龍太と二人：
幸せにやっってるんだから：

ピッ



◆END◆

スーパー
アイ

木崎さん 今日の忘年会
来れないんですって？

えっ？
そうなの？

ええ…

息子が熱出しちゃって…

まあ…それは…

すみません
お先に失礼します

残り香
NOKORIGA





何言ってるの
そんな事気にしなくて
いいのっ



ゴメンね母さん…
今日忘年会だったん
でしょ？



随分と遅しく
なったのね…



あっ！



ホント…段々お父さんに
似てくるのね…

……



そ…そうかな？



もう！病気の時くらい
言う事聞きなさい！

ホラ早くっ！



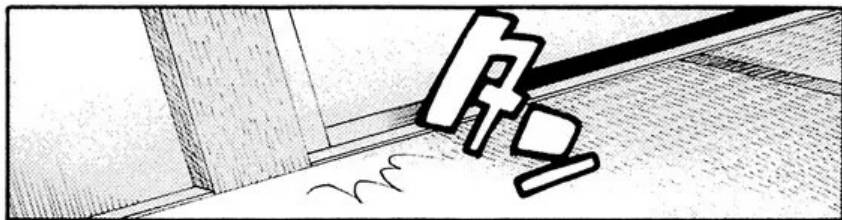
フフフ…
くすぐったかった
かしら？

じゃあパンツも
脱いじゃいなさい

ええっ！

イヤ…
ここはいいよっ！















んっ…

ふっ…

はあ

あ…

グッ
グッ
グッ

グッ
グッ
グッ

んふっ…

んんっ…

はっ

はあっ

グッ
グッ
グッ

グッ
グッ
グッ

グッ
グッ
グッ







おやあぁ～



いやっ…
ダメッ…

そんな所拭いたら
濡れちゃうっ！

益々濡れちゃうっ！

昭夫も濡れてるの
気付いてるっ……

絶対
気付いてるう！



ダメダメダメ!!
明夫抜いてっ!

じゃないと
母さんっ…





俺が父さんの
代わりになるよっ！

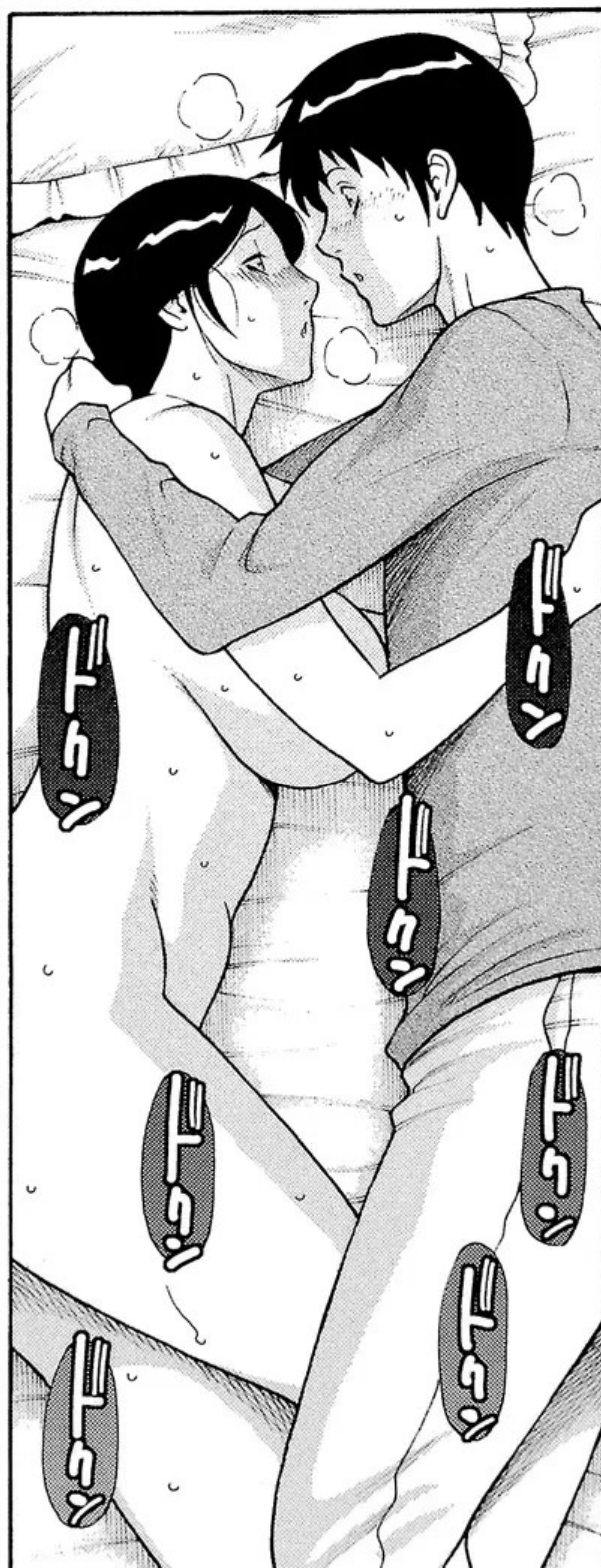
父さんに代わって
俺が母さんをつっ…

チュ…

チュウして…

んふっ…

ちゅふっ







俺：ここから産まれてきたんだよね？
なんか不思議：

あはあ…
そうよ…

それがこんなに大きくなつてえ…



んぶっ

んぐっ



ぐっ！

んっ！





はあッ

はあッ

はあッ

もおく 明夫ったら

はあッ

そんなに体
擦り合わせたら…

おっ

おっ



んっ

んふっ



フッフ…

ハッ

…うん

はあッ

ダメよ…
我慢して…



フルッ

フルッ

おチ○チン
入っちゃうでしょっ



あッ

ねっ?…
他の事なら何でも
してあげるからっ

あッ

それだけは
ダメよっ…

はあッ

あッ

あッ コラッ
明夫っ!

あッ

やッ





母さんっ！
今日だけは…

女になってよ！



俺の…
俺の女になって
くれよ！

ふはっ！

ああっ！

んあっ！



あああああ
明夫おおお！

明夫の女に
してくれるのっ？

おっおっ…女に
してくれるのっ？





おもっ

んおっ…

じゅぽっ

じゅぽっ

ぢゅるっ

休みなしで
五回も連続でしたから

んもっ…

母さんのオマ○コ
真っ赤になっちゃった…

かっ
かっ



あああっ...

んはっ...



おっ...おっ...

あひっ...

あはっ 凄い凄い!

母さん一杯
噴出してきたよ

おほお...



あっ...
ちよつと待って...

いったばかりは
ダメよっ...待っ...

ヒギッ

ぬちゅ



あはっ！

ああっ！

これからだって
ずっと…ずっと…

二年分たっぷり
するんだからっ

んお！

俺が母さんの
男になってあげる！

嬉しいいっ！

んああっ





はひっ!

ひゃ!



母さんっ…
射精すよ!

へおおおっ!

ちようだいっ!
ザーメン頂戴!





◆END◆



あ！それ今週号？

見せて見せて！
うお〜スゲ〜！





僕が彼女に夢中な訳

BOKU GA KANOJO NI MUCHU NA WAKE



へへへ...
のうまたな 隆史さん

この調子で
イクぜえ

いいぜ
隆史さん

隆史さん
ナイス!!

なんだ...
またやってたんだ
ソレ...

隆史おかえりく

だって来週
授業参観でしょ?
それまでには...ね?

最近またちょっと
タプタプして
きちゃったし

OK!
Let's
Go!!



胸は大体が脂肪なんだから
ノーブラで揺らしちゃうと
小さくなっちゃうって
言ってるじゃん

あつ

ああん



あくまたノーブラで
やってるく

きやつ

レニッ













そんな事ないよ
ホラ…ココも…



隆史っ！

汗かいてるから

汚いわよっ…



あゝなんか
ジヨリジヨリする

べろぽろ



やつ…

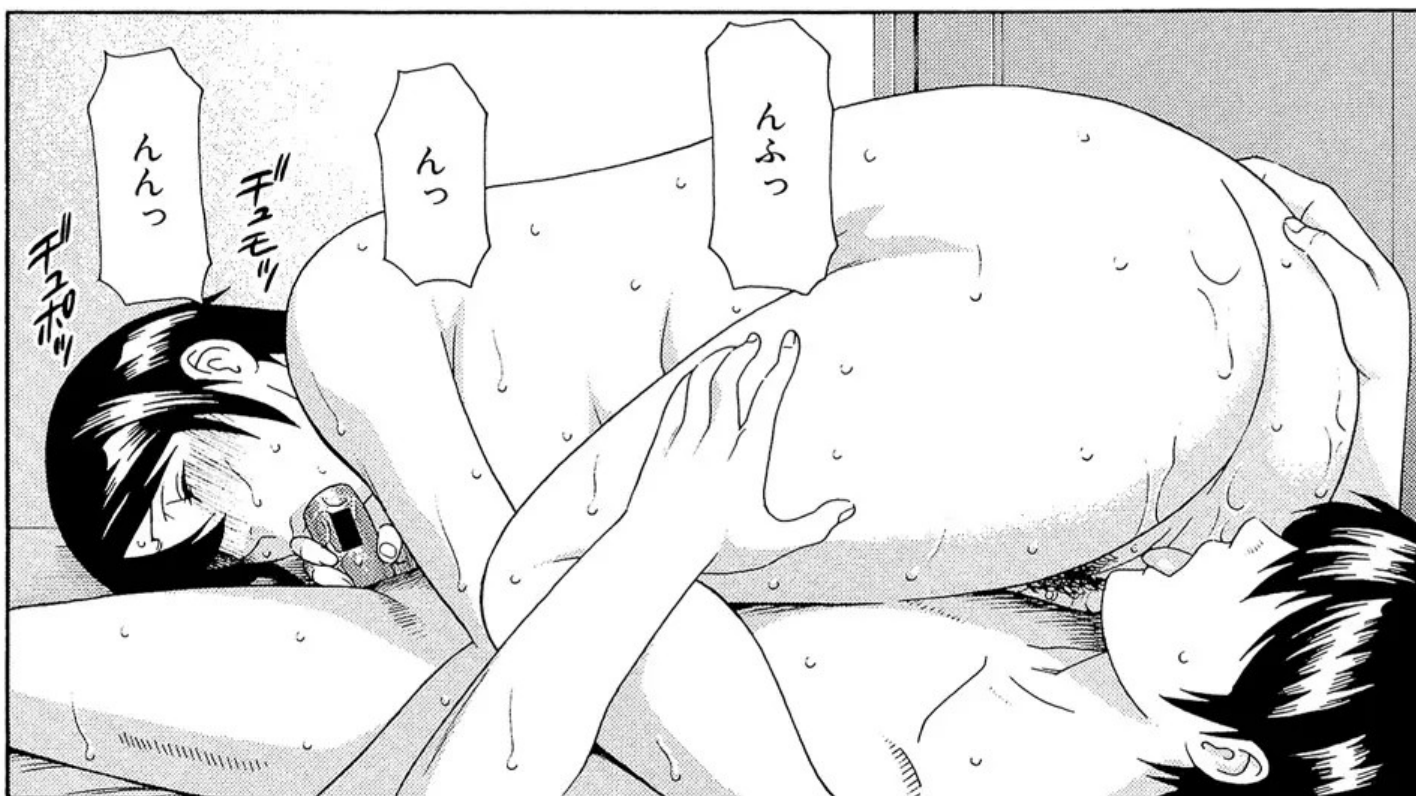
お手入れ
してないからっ



やあっ！

ぽろぽろ







俺には母さんが
いるじゃん

どうしてって



どうしてっ？

断っちゃったけどね



社会人になったら
ちゃんと相手見つけ
るって

おお…

あうっ…



わかってるって

ずいゅ



あつ…でも…

あなたには…
ちゃんとした…



いっ…

いいけどお…

それなら…

おおっ…







じゃあ俺が
突いてあげるっ

えっ？

外から
見えちゃうっ

これじゃ…

ひんっ！

うっ！

ううっ！

ゴ
ー
ッ

ズッ

ズッ

ズッ











えく本日は
授業参観だぐ

親御さんが見てるから
と言ってやたらとく
張り切る必要は
ないんだぞく



やっぱり俺は母さんが好きだ



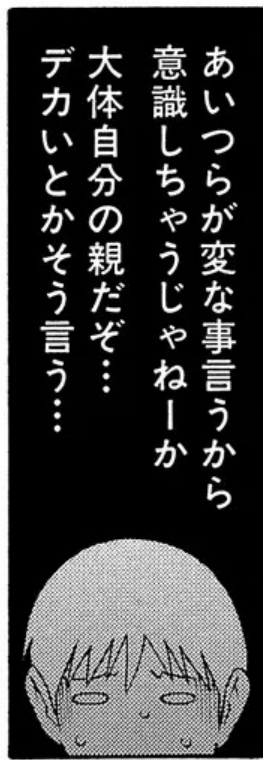
わっ！母さんあんなピチピチした服着ちゃって
なんかスゲくエロいつ...

◆END◆



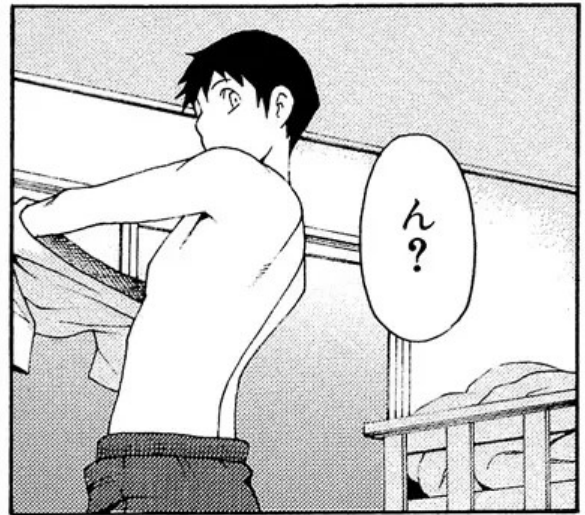
ママモミ!
MAMAMOMI







これはっ？



ん？



うおくデカイ！
これ普通なのかね？

いやいやいや
普通じゃないでしょ



かかか…
母さんの…
ブラジャーかっ？



あ

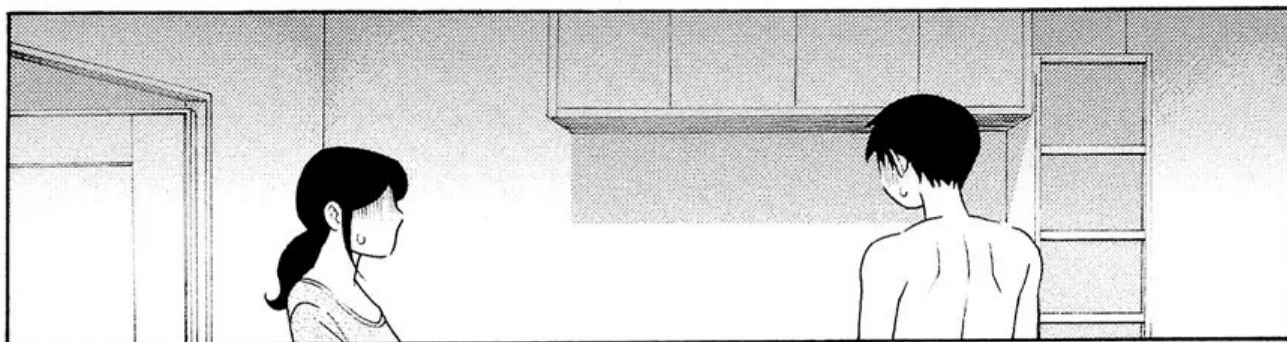
なっ？



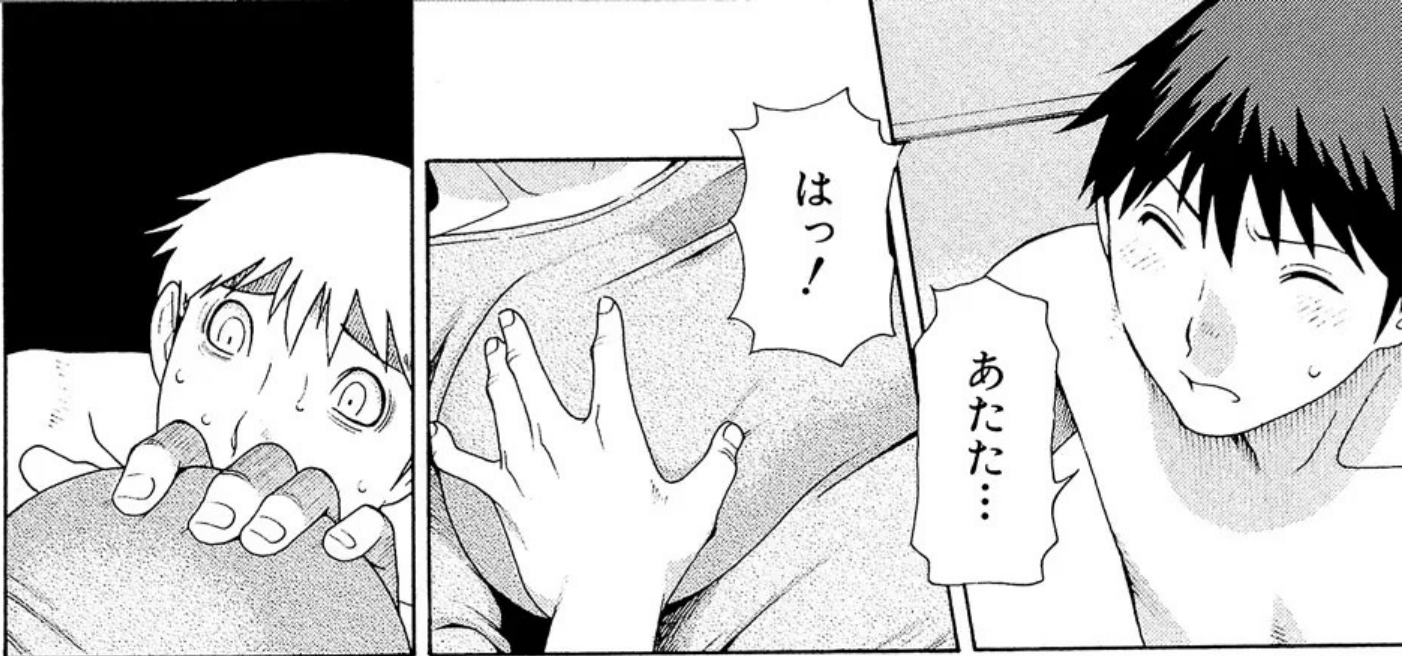
ブラジャーがこれだけ
大きいって事は…
生乳はどんだけ
デカイんだろ…



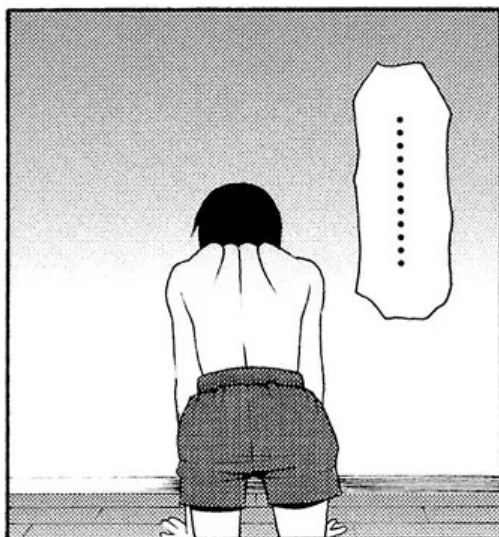
智弘く
タオルとかここに…





















ああんっ！



智弘にお乳飲ませて
あげてた頃の事を

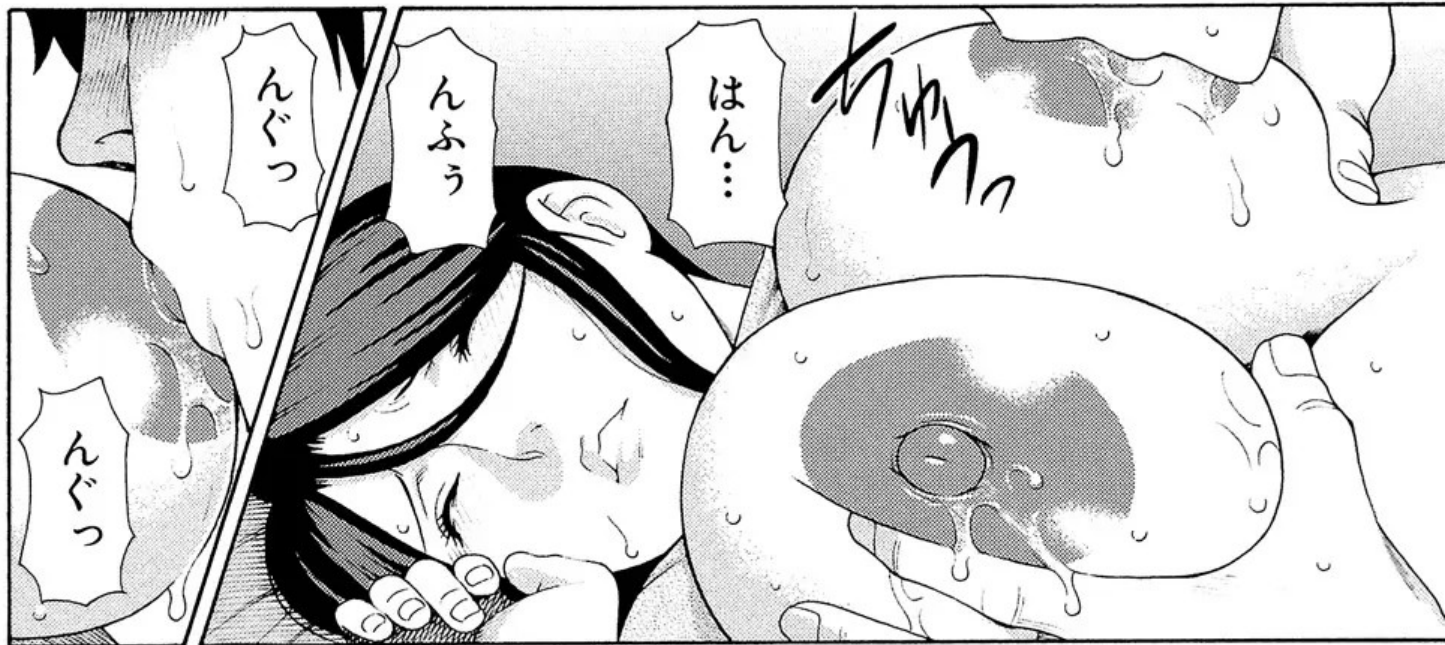
体が思い出しちゃった
のかも知れないわね…

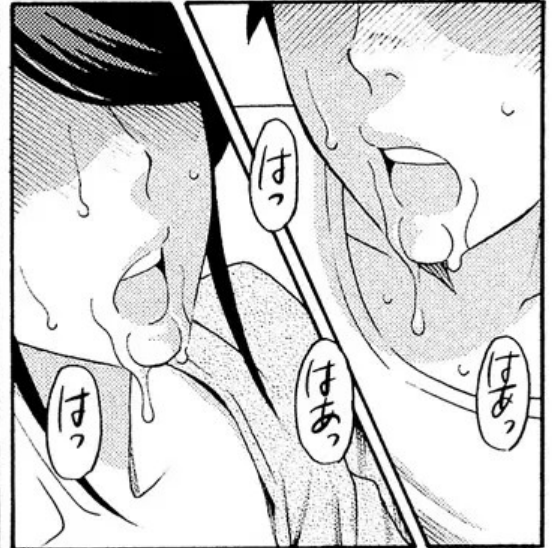


洗面所で智弘に
触られた時から
急に張りだしたの…

母さん
なんか…

出てきた…









うん

最後まで…
経験…しよっか？



恥ずかしいから
そんなにジロジロ
見ないでよっ

なによ 母さんに
ここまでさせといてく

ほらっ 母さんに
ちゃんと見せなさい

わあく…
こんなに固く
なって…

智弘…ホントに
大きくなったのねえ…





智弘の
おチ○チン…

にはあ
い

母さんにちょうだい♡

うん…
ここで……
いいのかな？

そうソコよっ
お願い！挿入れて！

あっ！

ああっ

アッ

アッ





だって気持ちいいから
腰が止まらないんだよ！

すぐ
イっちゃうわよっ！

母さん
久し振りだから



うはああ！

ああ待って
待ってえ！



んんっ!

母さん……
俺……出そう……

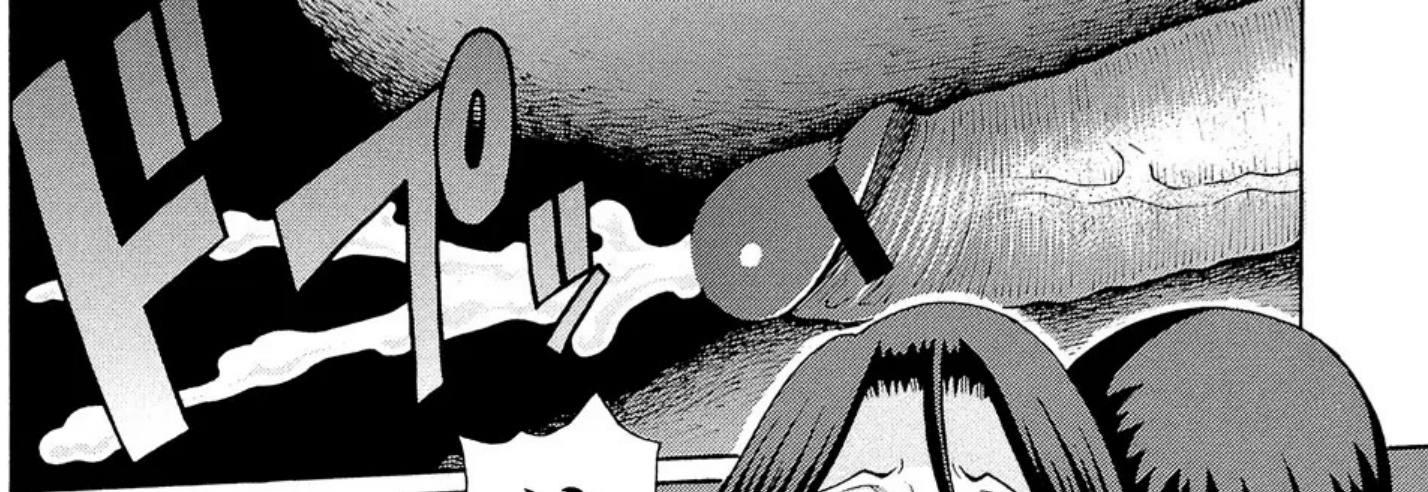
うんっ!



一緒に
いつてえええ!

イクっ……
イクからっ……

あっあっあっ
母さんもっ!



はうはう！



あああ…
智弘の熱いのが

母さんの中にいっぱい
流れてきてるう…

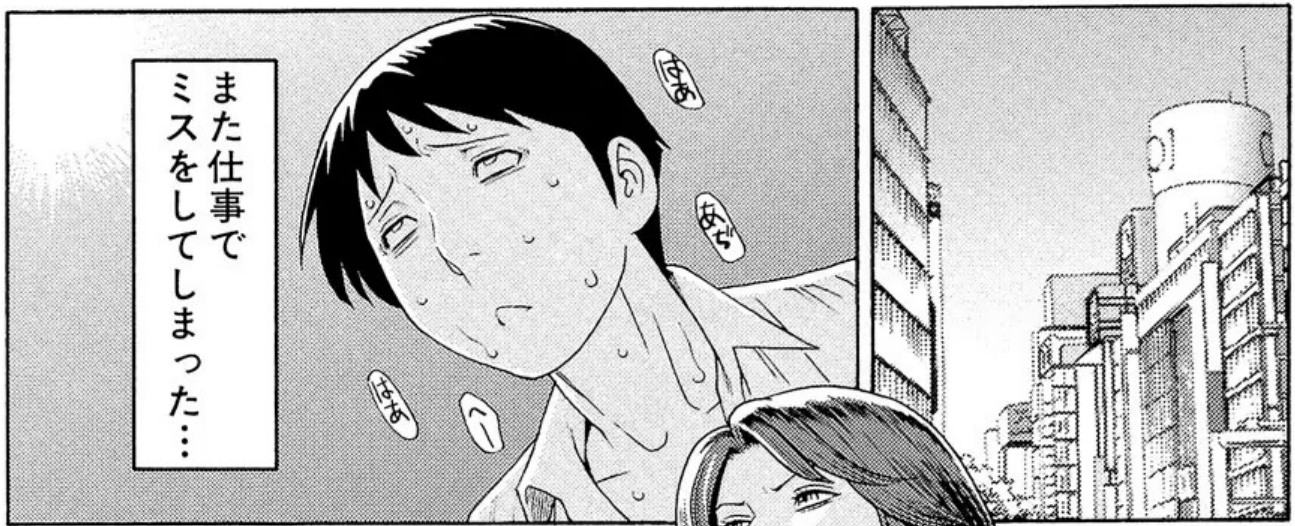
母さん…







当分彼女は
出来ないと思うよ...



また仕事で
ミスをしてしまった…



今は上司につき添ってもらっての
取引先へのお詫び行脚の帰り…

この上司には毎回毎回
世話になりっ放しなのだが…
非常に…怖い…

怒ってる…
あの歩き方は絶対…

この炎天下
歩き回されれば当然だ…



はいっ…

真島あ…

鋼の女に
花束を





いつも同じ事を
何度も何度も…

まったくアンタ
入社何年目？



ぷはっ！

まあ殆どが説教タイム
なんだけど…
今日は疲労が溜まっていてつい…



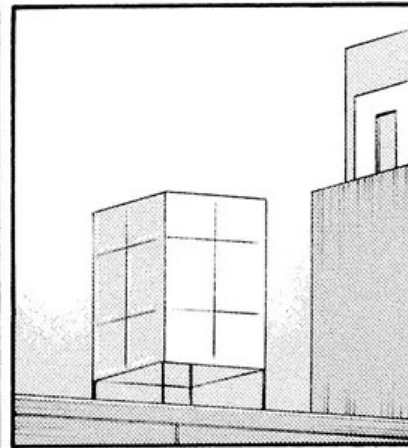
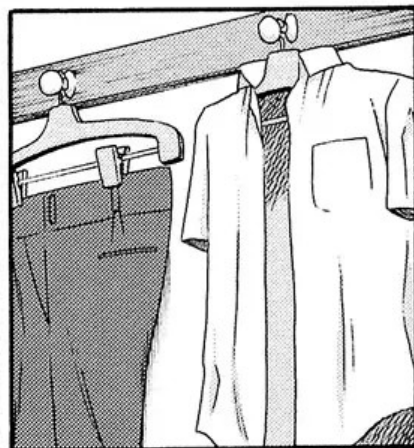
上司が説教してる時に
居眠りするとは何事よ
！

コラあ！
ちよつと！



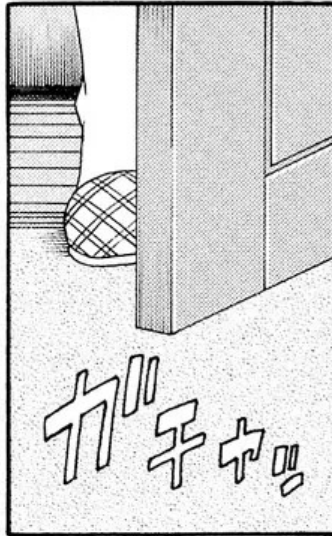
暑さと疲労で
もう…

すいません…

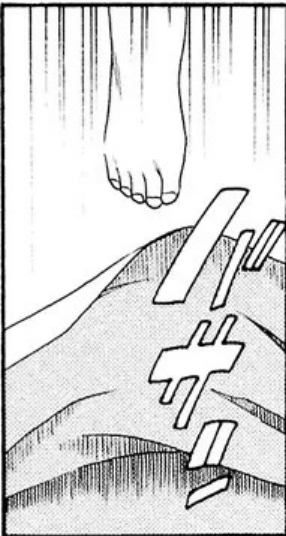




！ 思い出したっ



カチャッ



ガッ



すいませんっ！
酔って寝てしまい…

ビーン

あろう事が泊めて
頂いたなんてっ…



おはよう



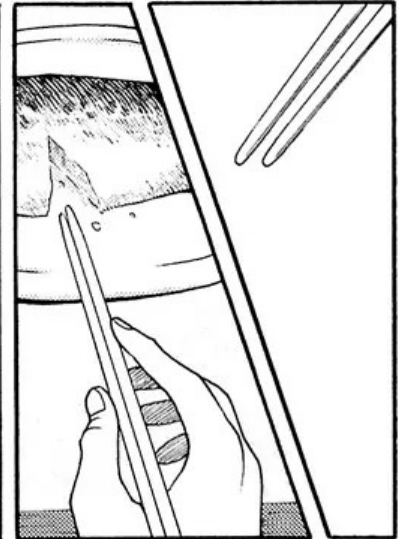
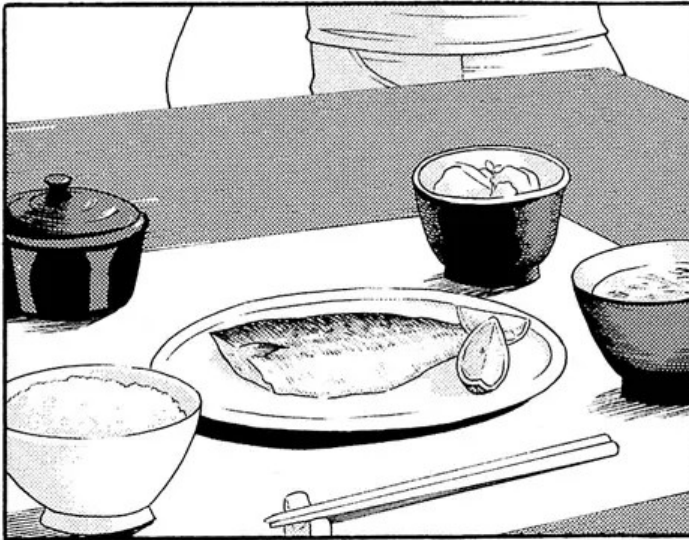
へっ？



朝ご飯
出来てるわよ



……？











男の人に手料理
食べてもらうって

やっぱり
嬉しいものね…



えっ？

やっ…



帰っちゃうの？



あのっ…
昨晩から色々
すいませんでしたっ

僕そろそろ
失礼しますっ…



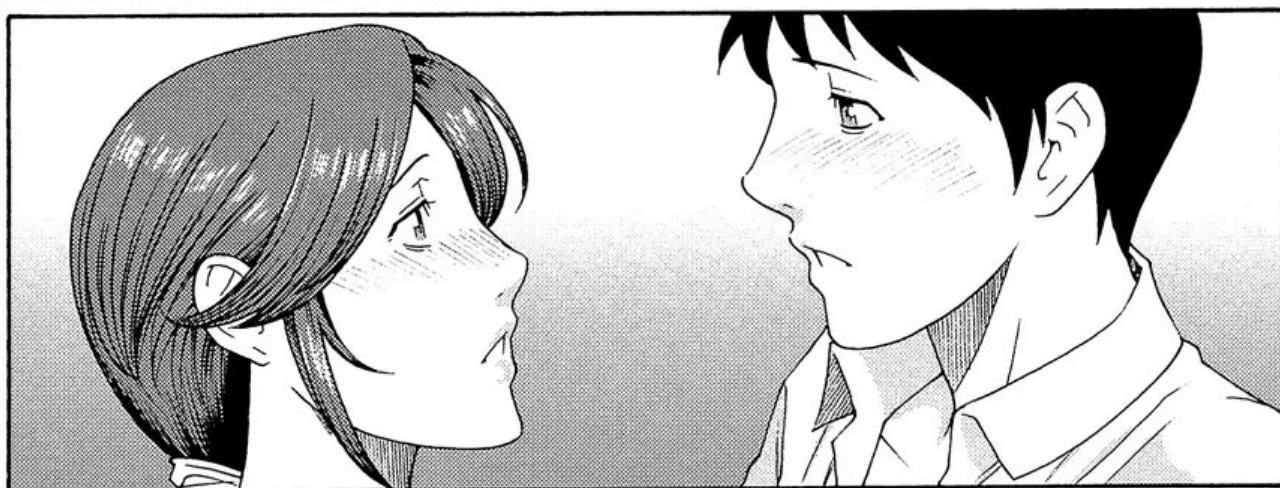
あ~~~~
それって嫌味かしら？



休日ですし水野さんも
ご予約があるかと
思いました…









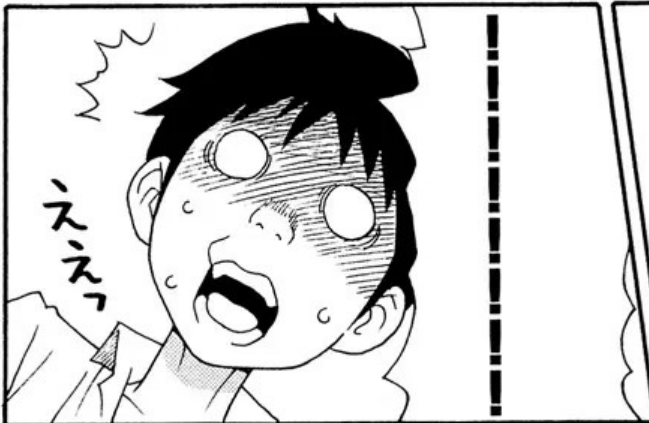
いえ…
謝るなんて…



それにずっと仕事で
酷い接し方して…



それは僕が
ダメなんで
当然の事…



ええっ



実はね…
ずっと好きだったの



でもこの歳まで独身で…
もう仕事だけに生きようと
決めていた所もあって…



真島君の事…

あなたへの
気持ちを消す様に
ずっとあんな態度を…



謝る事も
可笑しくもないです



可笑しいわよね…
子供みたいで…



僕が辞めないで
会社にいるのは…

水野さんと一緒に
居られるからで…



あああ…



あっ…



はうっ…

ああああっ…

凄く硬くなつて
ますね



きひっ…

気持ちい
いですう…



こんなのは
とうですか？



やつ…

恥ずかしい…







いつも...

こうやって一人で

ああ... 恥ずかしいい
真島君に見られながら
するなんて...

慰めてるんですう...

グ
グ
グ
グ











こんな風に
やりまくりたかった
んでしょ？

パンパン

はっ♡

私もオマ○コも
悦んでますう！

じゃあその悦んでる
オマ○コで

ひゃっ！

シゴいて
もらおうかな

オマ○コ
擦り切れるまで

わかりましたあ

おチ○ポ
シゴきまあす！

ドッ
ドッ
ドッ



どうですか？
私のオマ○コじき

おチ○ポ
イケそうですかあ？



ええ…
すぐにでも…



オマ○コに
飲ませて下さいねっ！

私もまたっ
ああああっ！



あっ…
入ってるっ

熱いのがまた
いっぱい…

あはああ…♥



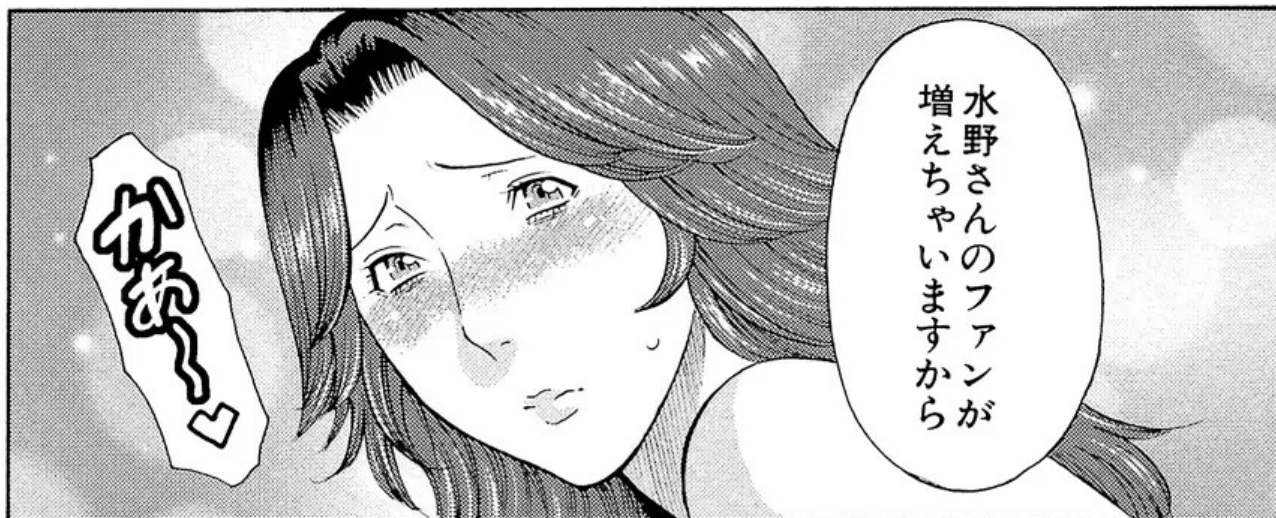


こんな女だって
皆に知られたら…



えっ…

これからも普段の顔は
仕事中は見せないで
下さいね



水野さんのファンが
増えちゃいますから

かあ〜♡



うっ…

ちょっとくらいは可愛い所
見せてくれても…



ぐえっ!

すいません!
すいませんっ!

いっぺん墮ちるか?
墮としてやろうか?

数日後…

またお前は
同じミスを何度も!

とは言ったものの

ちよつと
あなた達！

とつくに予鈴が
鳴ってるでしょう！

おまけに何？
この髪の色は！

さっさと教室に
入りなさい！

ひっ

ながよし
倶楽部

またやってるよ
藤堂先生…

なんでああも
毎日怒ってばかり
なんだろな？

三十代後半にもなって
結婚出来ない
腹いせだったりして

ははは



ウチに遊びに来ない？

君達
今日学校終わったら



勿論部活が
終わってからで良いよ

面白い物
見せてあげるよ



学校終わって
からって…

俺達部活があるぜ



遊びに来てからの
お楽しみだよ



なにになに？
面白い物って？

新しいゲームソフトとか
買ったのか？



いらっしやい
待ってたよ

はああ

ブル

かほ

ギ

ギ

あは

ブル

あ

ニア

ブル

ビビ

ガガ









わたくし
藤堂冴子はあ
教師でありながらあ

教え子である
黒木マナブ君の
オマ○コ奴隷ですっ♡

貰い手のいない
わたくしの緩んだ体で

黒木君の性欲を
処理する為に奉仕させて
頂いてますう♡

あはあ…
コレ言う度
感じちゃうン♡

はい
よく言えました

次は木馬で
遊ぼうか？

木馬？
前に一度
乗ったあの木馬？



ああ……これ子供の
遊具みたいで凄く
恥ずかしいのよね……

そっち側からだとお
尻の穴とかオマ○コが
丸見えに……



ほらあっち向いて

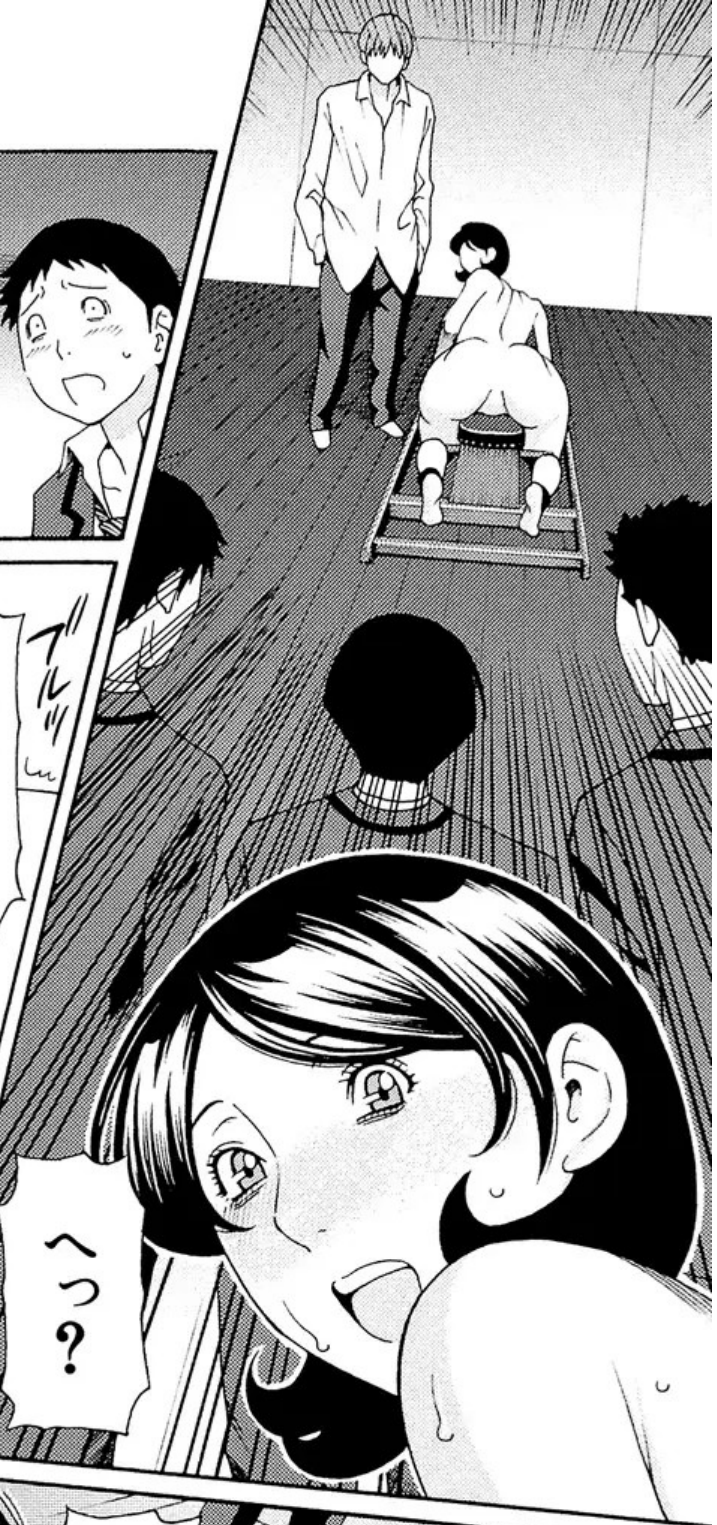


アイマスク取るから
自分で見てごらん



今日はね
サプライズプレゼント
があるんだよ

えっ？ なになにに
新しいプレイかしら？





「吹雪」って
アイドル
グループの？

は？



藤堂先生ってさ
「吹雪」の熱狂的な
ファンだって事
君達知ってた？



まずは彼らに
経緯を説明しよう

やつ
解いてっ



そう…皆も知っていると
思うけど僕の父親って
テレビプロデューサーで
業界には顔がかなり
利くんだよな
当然入手困難なアイドルの
ライブチケットとかも
手に入るんだ

それを先生に教えたなら
目の色変えちゃって…
そこで僕は交換条件を
提案したんだ
先生の為にチケットとか
を手配する代わりに…



僕の性欲処理係に
なるって条件をね

くはあ

やつ…

やめっ…



まあ今となつては
どっちが性欲処理してるか
分からない状況だけどね

ぐっ…

ガチッ

くううう…



最初は断られると
思ってたんだけど
あっさり受け入れて
くれてさ

イヤああ！

あひん！

それからは事ある毎に
こうやって二人で
楽しんでたって訳

そこで…

ゴッ

君達にも手伝って
もらおうと思ってね

え？…

藤堂先生の性欲処理を

そんなんっ

やつ…

やあ…

黒木ホントに
いいのかよ

イヤよ！

イヤっ！

黒木君お願い!!
そんな事させないで!!

私は黒木君と
約束したのよ!!



ええ…



ゴメンねく先生
先生の相手は
僕一人では荷が
重過ぎるんだ



あくあ…可哀相にく
先生フラれちゃったね

日頃お世話になつて
お礼をたっぷり
返さなきや…

でも安心してよ！
先生には俺達がいる
からさ！

やつ…
イヤあああ…

ジャンケンポン!

あああ〜!

よっしゃあ!

先生!
先ずは俺からね!

キャツ!
止めなさいっ!

さわっ…
触るなっ!

そんな嫌わないでよ
黒木と同じ様に
仲良くしようよ〜

臭いっ!

だっ…誰が
お前達なんかとっ!

離れろクズども!
こんな事をして後々…





我慢なんてしないでよ
俺の童貞先生に
捧げてるんだから〜



ははは！
必死に理性を保とうと
してるぜ



ごえ！

まあいいや
気分出るまで
俺の部活終わりの
臭いチ○ポ啜えてよ



オイ見ろよ
先生何か
堪えてるみたいよ

んぎっ…

ひぎっ…

奥までしっかり
咥えろよっ！





やべっ...
我慢出来ずにシコってたら
出ちゃった

.....
?

俺もっ!!

あー

どろろ







俺達にも繋がってる
所見せろよ!

おほお...

んはっ...

マ○コより
全然締まる!

おおスッゲー!



んひやつ!

オマ○コもパツクリ
広がっちゃって

マン汁の量
ハンパねえじゃん先生!

うはっ!
先生の肛門にマジで
入ってるよ〜!

こんなにオマ○コ
広がってたらさく
手とか入るんじゃない?

ガッ







私もうつ…
壊れっ…

壊れちゃうっ!!

ああイクっ!

イっちゃうっ

んごっ?

どうせなら皆一緒に
イこうよ先生

おうっ!

んぐっ!

んぐっ!



はあん

はあっ...

かはっ...

あっ...

数日後――

コラ~~~~!

あなた達
待ちなさい!

うわっ!

藤堂先生だ!
逃げろお〜

待てって言うてる
でしょうが!

いつになったら
また私のっ

相手を
してくれるのよお!!

さ今なら理科室
空いてるわ…
♡こで…♡

助けてえええ!!

◆END◆

～ あ と が き ～

まだまだ至らない所だらけの漫画家ですが
未永くご愛顧頂けます様、これからも
精進して参ります。

この本に携わった全ての方々
そしてご購入下さった方々へ
感謝を込めて。

タカスギ
コウ



俺の母親

2012年7月27日 初版発行

2014年6月20日 4版発行

著 者——タカスギコウ

発行人——高橋広治

発 行——ティーアイネット

〒141-0022

東京都品川区東五反田4-6-7

藤和高輪台コープ404

営 業——03(5789)0571

F A X——03(5789)0576

◆本誌に掲載されている作品は全てフィクションです。実在の人物・団体・事件などはいっさい関係ありません。

◆購入者以外の第三者による本書のいかなる電子複製も一切認められておりません。

◆本書の無断転載、複製、上演、放送を禁じます。

◆乱丁・落丁本はおとりかえいたします。

©タカスギコウ／ティーアイネット

ISBN978-4-88774-439-4

お買上げに
誠にありがとうございます



2012. 夏
タカスキコウ







